

目標・評価規準作成例

第2学年 小学校国語科学習指導案

- 1 単元名 夏休みの思い出を報告しよう  
～相手に伝わるように、話す順序を考える～

※単元名は、単元を貫く言語活動がわかるとともに、身に付けさせたい指導事項がわかる表記にする。

2 単元の目標

- (1) 身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすることができる。 [知識及び技能] (2)オ  
(2) 相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基ついて、話す事柄の順序を考えることができる。 [思考力,判断力,表現力等] A(1)ア  
(3) 話し手が知らせたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。 [思考力,判断力,表現力等] A(1)エ  
(4) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 [学びに向かう力,人間性等]

※【知識及び技能】【思考力,判断力,表現力】は基本的に、指導事項の文末を「～ができる。」にして示す。  
※【学びに向かう力,人間性等】は、各学年の目標の「言葉がもつ～伝え合おうとする。」までを示し、年間を通じて同じものを設定する。

3 本単元における言語活動

夏休みの思い出について報告したり、それらを聞いて感想を述べたり、書いたりする。(関連:言語活動例ア)

4 単元について

～ 省 略 ～

※「単元について」は、内容を(1)指導観、(2)教材観など項目ごとに分けて書いても良いし、ひとまとまりにして書いても良い

冒頭に当該単元で指導する領域名を明記する

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き語彙を豊かに <u>している</u> 。 ((1)オ)	①「 <u>話すこと・聞くこと</u> 」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基ついて、話す事柄の順序を考えている。(A(1)イ) ②「 <u>話すこと・聞くこと</u> 」において、話し手が知らせたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ <u>ている</u> 。(A(1)エ)	① <u>粘り強く、相手に伝わるように話す事柄の順序を考えながら、学習の見通しをもって、夏休みの思い出を報告しようとしている。</u>

文末は「～している」

- ※単元の評価規準は、単元の目標とリンクすること。(目標の文末を「～している」に変えるだけでOK)
- ※単元の評価計画において、全ての時間に「記録に残す評価」を設定する必要はない。また記録には残さないが、「指導に生かす評価」は記載しない。
- ※領域が複合的に組み合わせられる単元(複合単元)の設定は注意が必要。
- ※「主体的に～」の実際の評価は2時間目以降がよい。
- ※本時の計画には具体的なBの姿、Cへの支援を記入する。(Aの姿は記載しなくてもよいが、十分な検討が必要。)

- ①粘り強さ〈積極的に、進んで、粘り強く etc.〉
- ②自らの学習の調整〈学習の見通しをもって、学習課題に沿って、今までの学習を生かして etc.〉
- ③他の2観点において重点とする内容(特に粘り強さを発揮してほしい内容)
- ④当該単元の具体的な言語活動(自らの学習の調整が必要となる具体的な言語活動)

※評価規準の欄には「記録に残す評価」のみを記入する。

## 6 単元の指導と評価の計画（全7時間）

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
1	<p>○夏休みの思い出を報告するという学習の見通しをもつ。</p> <p>○夏休みの思い出を複数想起し、その中から友達に一番報告したいことを選ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の伝えたいという思いを引き出した</li> <li>り、教師が自信の思い出を紹介したりして、学習への意欲を高め、学習の見通しがもてるようにする。</li> <li>・夏休みの思い出の中から伝えたい思いの強さを手掛かりにして、一つを選ぶようにする。</li> </ul>	<p>「指導に生かす評価」のみの時間は、評価規準の欄が空欄になる。</p>
2 3 4	<p>○「始め—中—終わり」といった話の構成で話すことを確認し、「始め」と「終わり」については先にノートに記述する。</p> <p>○「中」の部分については、第1時で選んだ一番報告したい思い出を詳しく想起して、必要な事柄を4～6つ程度カードにそれぞれ書き出す。 〈カードの種類（例）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みたこと</li> <li>・したこと</li> <li>・かんじたこと 等</li> </ul> <p>○夏休みの思い出を友達に報告するためにはどのような順序で話したらよく伝わるかを考えながら、ワークシート①の該当箇所にカードを置き、その理由を書く。</p> <p>○友達と交流した上で、カードの並び順を見直し、その順序で報告しようとした理由をワークシート②に書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「始め」には「いつ・どこで・だれと・どうした」を「終わり」には、「全体を通して思ったこと」をそれぞれ一文程度で記述できるようにする。</li> <li>・選んだ思い出を詳しく想起できるように、日記や写真等を基に、経験や行動を振り返るよう助言する。</li> <li>・事物の内容を表す言葉、経験したことを表す言葉、色や形を表す言葉を確認し、カードの中で必ず用いるような指導をする。</li> <li>・物事や対象についてどのような順序で説明すると伝わりやすくなるか（例えば経験した順に並べるなどの時間的な順序、感動の大きかったことの順に並べるなどの事例の順序）について例を示す。</li> <li>・友達が並べたカードの順序と比べてみたり、友達と相談をしたりしながら、並べる順序を考えるよう促す。</li> <li>・最初の並び順から交流後に決めた並び順になった過程を振り返り、交流後の並び順に決定した理由を書くことができるようにする。</li> </ul>	<p>[知識・技能①]（カード）</p> <p>[思考・判断・表現①]（ワークシート①）</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度①]（観察・ワークシート②）</p>
5 6 7	<p>○声に出して、夏休みの思い出について報告する練習をする。</p> <p>○グループ内で夏休みの思い出について報告し合い、質問する。報告が終わったら、ワークシート③に感想を書く。</p> <p>○夏休みの思い出を報告するという学習を通して学んだことを振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの話し方（声の大きさや速さ）について、特に良いと思ったところを伝え合うようにする。</li> <li>・グループ編成に際しては、前時で交流していなかった児童に報告できるよう配慮する。</li> <li>・聞き手は、話し手が伝えたいことを落とさないように聞き、その内容を踏まえて自分が感じたことをワークシート③の感想欄に記述するように指導する。</li> <li>・本単元の目標に則して身に付いたこと、今後の学習や生活の中で生かしていきたいことについて記述できるように助言する。</li> </ul>	<p>[思考・判断・表現②]（ワークシート③）</p>

「主体的に～」の評価は、2時間目以降に行う。

## 7 本時の学習（4／7時間目）

(1) 本時の目標

～ 後 略 ～

※設定した言語活動は、教師自身が実際に行ってみることが絶対に必要です。その上で「本時の展開」に「予想される児童の意見（反応）」を記入しましょう。